

## 平野ロジス ULD4枚積みのセミ・トレーラー車を開発 従来より1枚増でコスト面、環境面で顧客ニーズに応える

去る8月末に96インチパレットが5枚搭載可能なフルトレーラー車(+2=プラス・ツー)を業界で初めて導入した平野ロジスティクス。さらに加えて、この10月にはパレット4枚搭載のセミ・トレーラー車(+1=プラス・ワン)を開発した。11月からの配備を計画している。

### 東京発、大阪発貨物の途中積替えも計画

通常、パレット3枚搭載が当たり前のトラック業界で、顧客ニーズに合わせた輸送車を常に考えている姿勢に、同社の業界ナンバー・ワンの自信が垣間見える。

今回の「+1」(下写真)の特徴は、フレイター・サイズのコテナの高さ(96インチ)に対応したトレーラーであること。通常のトレーラーを使用すると、車高が規定の3.8メートルを超えてしまうため、唯一、超低床トラクターを生産する外国トラック会社に特注したということだ。

また、車軸を1軸にすることで「大型車」区分となるため、高速道路料金は通常のパレット3枚搭載と同じとなり、長距

離輸送で大きなメリットを発揮する。

先に開発した「+2」は特大車に分類されるため、例えば成田～羽田間などの近距離には威力を発揮するものの、高速を使う場合は割高になる。

しかし、今回の+1は通常的大型トラックと同じなので、積載枚数が1枚プラスされるうえ、高速代も従来料金と同じという。

益子研一・関東支店長(右写真下)は、今回の+1のセミ・トレーラー車ならではの強みを説明する。「例えば、時間に余裕がある貨物は、<sup>シヤン</sup>荷台に載せたままフェリーで海上輸送し、到着港で現地のトラクターを接続する方法も可能です。コスト削減や環境負荷の低減ですね」

また、いずれ車両台数が増えてくれば、東京と大阪間の長距離輸送のケースで東京、大阪をそれぞれ出発した+1が中間地点で合流、互いの荷台部分のみを交換してそれぞれ折り返すことで、ドライバーが自宅に帰ることができるという、ドライバーの労働環境の改善も図れるという。

田中英治・社長(写真上)は、「当社もことし創業50周年を迎え、さらなる発展をめざしています。そのために顧客のビジネスのお役にたつことを常に考えていきたい。今後ともエアカーゴ業界のOLT輸送のリーディング・カンパニーとして精進してまいります」と誇らしく語ってくれた。 [S]



### ヨーロッパをリードする星

TURKISH CARGOは、ヨーロッパ航空協会(AEA)の「ヨーロッパ発・着国際輸送貨物量の増加率」第1位を獲得しました。

**TURKISH CARGO**  Globalize your business  
www.tkcargo.com

東京：TEL 03-5425-2932 FAX 03-5425-2931 E-MAIL: nrtcargo@thy.com  
大阪：TEL 06-6228-5511 FAX 06-6228-5779 E-MAIL: kixcargo@thy.com